

## 2 ネットワークにおけるコミュニティ

オンラインコミュニティの特性や課題、個人の責任を理解しよう。

### オンラインコミュニティ

インターネットの普及により、離れた地域に生活していても、共通の趣味や関心で**オンラインコミュニティ**<sup>①</sup>がつけられるようになった。さまざまなものがあり、多様なコミュニケーション手段を提供する。

#### ① オンラインコミュニティ online community :

インターネットで、利用者どうしが意見を交換したり、情報を共有したりできる場やサービスのこと。

#### ② 電子掲示板 (BBS) Bulletin Board System

#### ③ チャット chat :

おしゃべりの意味。

#### ④ ブログ blog :

ウェブ (Web) と日誌 (log) を併せたウェブログ (Weblog) を省略した言葉。

#### ⑤ トラックバック trackback :

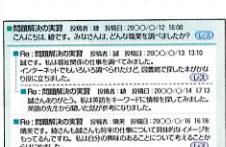
別のブログへリンクをはった際に、リンク先の相手に対してリンクをはったことを通知するしくみ。

#### ⑥ SNS (エスエヌエス) Social Networking Service

#### ⑦ メールिंगリスト mailing list

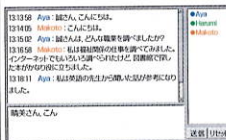
#### 電子掲示板<sup>②</sup>

複数の参加者がメッセージを交換できるサービス。



#### チャット<sup>③</sup>

リアルタイムで短い文字のメッセージを交換するサービス。



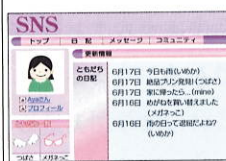
#### ブログ<sup>④</sup>

個人や企業の情報発信を時系列で記録したサービス。記事へのコメント投稿や、**トラックバック**<sup>⑤</sup>をすることで、情報共有・交流を促進する。



#### SNS<sup>⑥</sup>

Web上で人間関係を構築できるサービス。ユーザはプロフィールを登録し、ブログ・電子掲示板・電子メールなどを組み合わせ、人間関係を維持・拡大することができる。



#### メールिंगリスト<sup>⑦</sup>

設定したメールアドレスに投稿することで登録者全員にメールが配信されるサービス。



### 深める

#### その他のサービス

- ・ **動画共有サービス**  
誰でも動画が投稿・中継できる。また、動画は誰でも見ることができ、コメントなどができる。
- ・ **仮想空間**  
仮想の人物像 (アバター) を作成し、空間内を自由に探索したり、ほかのユーザと交流したりできる。
- ・ **オンラインゲーム**  
コンピュータネットワークを介して、ネットワーク上の複数の利用者がいっしょにゲームをすることができる。
- ・ **マイクロブログ**  
短い文章を投稿していく。ブログとチャットを合わせたような楽しみ方もできる。
- ・ **ソーシャルブックマーク**  
インターネットの「気に入る」をほかのユーザと共有することができる。

### オンラインコミュニティの特性

場所や時間の制約がなく、文字を介したコミュニケーションが中心となるオンラインコミュニティでは、対面のコミュニティとは異なる点がある。

#### [5] ・ 同報性

参加者に情報を一斉に発信・共有することができる。参加者はほぼ同時に情報を受け取るが、閲覧するタイミングは同時とは限らない。

#### ・ 蓄積性

[10] 電子メール、電子掲示板やブログへの投稿は、後から検索することができる。過去の発言を参照することで情報が積み重ねられていく。

#### ・ 匿名性

[15] 参加者は実名ではなく**ハンドルネーム**<sup>⑧</sup>を用いることが多い。**プライバシー**が守られる反面、誰の発言か特定しづらいために、無責任な発言を誘発する側面がある。

#### ⑧ ハンドルネーム handle name :

インターネット上で用いるニックネーム。

### 発信者の特定

電子掲示板などでの誹謗中傷や他人の**個人情報**の掲載など個人の権利や安全にかかわるトラブルが報道されることがある。

[20] 発信者が特定され、逮捕されることもあるが、匿名でも特定されるのはなぜだろうか。電子掲示板等のWebサイトを提供する**サーバ**とよばれるコンピュータには、発信者からの履歴が残っている。履歴には発信日時や**IPアドレス**が保存されているため、いつ、どこから発信したのかを特定することは容易である。

[25] 2002年に施行された**プロバイダ責任制限法**<sup>⑨</sup>により、インターネット上で誹謗中傷や不当な個人情報の掲載、**著作権**の侵害などがあつた際、被害者はWebサイトの管理者などに対して発信者の住所氏名などの個人情報の開示を請求できることなどが定められた。

#### ⑨ プロバイダ責任制限法

正式には、「特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律」。インターネット上で誹謗中傷や著作権侵害などがあつたときに、**プロバイダ** (→p.49) が負う責任の範囲や、情報発信者の情報の開示を請求する権利を定めた法律。

### 発信者の特定

